

南会津「自立と共生」推進プラン2024

「学校の在り方変革」による教員・学校の力の最大化

「子供たち一人一人に必要な力を確実に育成していく」という本来の学校の役割を果たすことができるよう、今年度も各種研修会を開催しました。8月に開催した「学級・授業づくりセミナー」では、参加者46名という、過去最多の参加をいただき、「取り残さない学級づくり」や「教科指導」等、今すぐに活用できる内容を中心に研修会を行いました。参加者からは、「これからの実践に役立てたい」等、前向きな感想を数多く聞くことができました。

また、要請訪問Ⅲ（相談訪問）では、21件の要請をいただき、先生方のもつ悩みや課題に対して下支えをしてみました。

次年度も、先生方一人一人の強みを更に伸ばせるよう、研修会の充実とそれぞれの悩みにお応えする学校訪問を継続的に行い、南会津ならではの特色ある教育を推進し、各学校の力の最大化に努めます。



「学びの変革」による資質・能力の確実な育成

今年度は、要請訪問Ⅰで域内10校72時間の授業を、要請訪問Ⅱで7校16時間の授業を参観しました。

どの学校でも、「この授業で児童生徒のどんな姿を見たいのか」（授業のゴール）を明確にした様々な展開の工夫が見られました。

授業後の分科会では、先生方から「教材との出会いを大切にしています」「実感を伴う授業を目指しています」「沈黙の時間こそ重要だと考えています」「子供の姿を『見る』、子供の声を『聞く』ことに力を入れています」「対話の後に必ず再構築させています」などの自評が聞かれました。

訪問のたびに、改めて、子供たちの日々の学びは、先生方の「思い」や「願い」に支えられていることを感じました。



南会津が目指す教育の基本理念

自立と共生

～『南会津』がつむぐ南会津ならではの教育～



第7次福島県総合教育計画(学びの変革推進プラン)の6つの施策に基づき、南会津が目指す教育の基本理念や、域内の強み・課題を踏まえ、事業を実施してきました。

福島で学び、福島に誇りを持つ「福島を生きる」教育の推進

11月25日(月)、下郷町立檜原小学校において、道徳教育地区別推進協議会を開催し、70名を超える先生方が参集した中で、5年生の道徳「くずれ落ちたダンボール箱」の授業参観、事後研究会を行いました。参加した先生方からは、「教材と重ね合わせながら発問していて、自分事として考える工夫が見られました」「アンケートや心情メーターの活用が効果的でした」等の感想が聞かれました。

また、秋田公立美術大学の副学長、毛内嘉威教授から、以下のような「3つの視点から発問を見直す」という話がありましたので、各校での授業改善につなげてください。

- ① 発問に対する児童生徒の反応を予想し、ねらいや内容項目から熟考する。
- ② 基本発問の中で、どの発問が重要かを考える。
- ③ 児童生徒の反応や考えを生かしながら展開する。



「南会津教育事務所 事業推進の重点」はこちらから ⇒



「広報 南会」のバックナンバーはこちらから ⇒



安心して学べる環境整備

今年度3回に渡り、教育相談コーディネーター研修会を行いました。講師の田村節子先生(スクールセーフティネット・リサーチセンター代表理事)や田村修一先生(創価大学教授)から、教育相談コーディネーターの役割や援助チームシートを活用したケース会議、チーム支援のポイント等について、以下の様な指導助言がありました。

- ① 先生の教えるスタイルと子供の学びのスタイルのずれに気付いておく必要がある(学びの選択肢を与える)。
- ② ケース会議では「子供が安心できること」「子供の強みを生かすこと」をキーワードにする。
- ③ 援助チームのメンバーとして、自分が何をするかを意識する。

参加した先生方からは、「チーム学校の大切さを実感した」「研修の成果を校内で共有し、組織的に対応していきたい」等の感想が聞かれました。



チーム学校における組織イメージ <生徒指導提要より>

人生100年時代を見通した多様な学びの場の確立

9月28日(土)、南会津町御蔵入交流館において、ビブリオバトル南会津地区予選会を行いました。

中学校から5名、高等学校から4名の発表者が参加し、熱いバトルを繰り広げました。また、観戦者や運営ボランティアとして、たくさんの方にご協力いただきました。

参加した生徒からは、「私は、緊張しやすく人前で話すことが苦手なため、今回のこの大会の経験は、自分を変える大きな出来事の一つとなりました。また、たくさんのおもしろそうな本を知ることができ、とても貴重な時間になりました」等の感想が聞かれました。読書活動やビブリオバトルへの参加が生徒の将来の可能性を広げることにつながっています。

域内の図書環境や読書活動について紹介する「読書活動推進NEWS」も随時発行中です。ぜひご覧ください。

読書活動推進に関する情報は こちらから ⇒



※教育的ニーズの3つの観点

- ① 障がいの状態等
- ② 特別な指導内容
- ③ 教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容

